大津のことが もっと好きになる情報誌

広報 おおづ

11
NOVEMBER 2023

【特集】大津のプライド

銅銭糖

江戸時代、参勤交代の宿場町として栄えた大津町に作り継がれる「銅銭糖」。銅銭糖には、どんな歴史があり、どんな思いを持っているのでしょうか。大津町の歴史を振り返りながら、銅銭糖について考えてみましょうー。

Public relations OZU TOWN

広報 おおづ 2023 11

発行・編集■大津町・総合政策課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3118 http://www.town.ozu.kumamoto.jp/

印刷■ホープ印刷株式会社

※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物油インクを使っています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

イベント
ステージ
フリーマーケット ほか

地産地消
JA 菊池大津中央支所農産物

グルメ
大津町商工会イベント出店組合 ほか
地元の皆さんがつくる
グルメを楽しもう！

掘って・知って
たのしんで

第33回 からいもフェスティバル in おおづ

2023 11.12 日

10:00~15:30

場所 本田技研工業(株)熊本製作所内総合グラウンド
HSR 九州・からいも畑

詳細は こちらから

からいも畑
からいも掘り大会
当日掘り 10:00~
（無くなり次第終了）

からいも館
からいものことを
もっと知って、
もっと好きになろう！

江藤家住宅 一般公開
同日開催！
(10:00~15:30)

主催：からいもフェスティバル実行委員会　協力：本田技研工業（株）熊本製作所、HSR 九州

お問合せ
からいもフェスティバル実行委員会（明日の観光大津を創る会事務局、大津町役場 商業観光課内）
096-294-2877
〒869-1292
熊本県菊池郡大津町大津1233番地

つづじの声

銅銭糖特集を組んでみて、改めて大津町の魅力を深掘りすることができました。私は保育園の頃、おやつで銅銭糖を食べた記憶があるのですがそのときは固かった記憶があり、銅銭糖は固いお菓子なのだと思って育ちました。3年前くらいに久しぶりに銅銭糖を食べたのですが、あまりのやわらかさに銅銭糖の概念が覆されました。銅銭糖のもち粉と砂糖のバランス、中のあんこと落雁粉の絶妙なマッチング。私は大津町の銅銭糖が大好きです。急須で淹れたてのお茶と食べるのがおすすめですが、最近は牛乳と一緒に食べることにハマっています。これからもおいしい食べ方を開拓していきたいと思います。おすすめの食べ方を見つけた人はぜひ教えてください

（末永）

広報が読めるスマホアプリ
マチイロ